

西成郡稗島村越知家文書概要

- 1: 文書群番号 089011
- 2: 文書群名 西成郡稗島村越知家文書
- 3: 出所 越知家
- 4: 家業・役職等 近世：稗島村東組庄屋／近代：稗島村役場収入役
- 5: 地名 摂津国西成郡稗島村／大阪府西成郡稗島村／西成郡稗島町／大阪市西淀川区姫島町
- 6: 行政区分 大坂藩松平氏領／幕府領／大阪府／西成郡稗島村／稗島町／大阪市
- 7: 歴史 稗島村は旧摂津国西成郡に位置、近世には村高1460石余の大村であった。村の産業は綿業（寛政～文化期（1789～1817）に最盛期、明治20年（1887）頃機械紡績の台頭により消滅）、寒天製造など。明治期蔬菜栽培に移行し、大根・水菜・スイカなどを生産した。明治31年淀川改良工事により村が新淀川の両岸に二分された（角川日本地名大辞典）。
- 8: 伝来 出所は西成郡稗島村越知家で、大阪府立大学経済学部所蔵越知家文書と本来一体のものと推測される。平成2年（1990）1月に史料館が古書籍商より購入した。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 907点（目録件数655件）
- 11: 年代 享保7年（1722）～大正5年（1916）
- 12: 構造と内容 本文書群は、①近世・近代の稗島村関係文書（年貢・出作・水利・絵図・村明細帳）、②綿屋・越知家の経営（金融・小作地経営・寒天販売など）・家に関する文書からなる。
- 13: 関連史料 大阪府立大学経済学部所蔵越知家文書
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 松迫寿代